

2011年1月20日(木)

報道関係者各位

笹川平和財団

【中東専門家招聘】
トルコ首相首席補佐官 イブラヒム・カルン博士の招聘に伴う
個別取材のご案内

笹川平和財団・笹川中東イスラム基金は、1月22日～28日にかけて、トルコ首相首席補佐官であるイブラヒム・カルン博士を招聘します。今回が初の来日となるカルン博士は、ダウトール外相の後任として、2009年に首相首席補佐官に就任しました。現在はエルドアン首相直結の政策ブレーンとして、トルコの外交政策に大きな影響力を持つといわれています。「ルック・イースト政策」を推し進めるトルコ外交のダイナミズムを理解する上で、同博士はキーマンの一人であるといっても過言ではありません。

イブラヒム・カルン博士略歴:トルコ共和国首相首席補佐官および米国ジョージタウン大学特別研究員。マレーシア国際イスラム大学修士課程(95年)、ジョージタウン大学博士課程(02年)終了後、ホーリー・クロス大学(米国)、ジョージタウン大学、ビルケント大学(トルコ)などで教鞭を執る。05年～09年にはトルコの著名なシンクタンクである政治・経済・社会研究基金(SETA)の理事長を務める。

なお、カルン博士の招聘に合わせて、マレーシア外交戦略研究グループ部長であるキム・ファル・パング氏も来日します。同氏はASEAN地域の開発問題の専門家であり、SETAのアジア・フェローを兼任しています。

カルン博士またはパング氏に対する個別取材をご希望の方は、以下の担当までご連絡下さい。日時を調整します。

笹川中東イスラム基金 加藤・関口
Tel: 03-6229-5459 Fax: 03-6229-5473 E-mail: middle-east@spf.or.jp

*当日通訳は付きませんので、取材は英語で行っていただきます。予めご了承下さい。

1月26日(水)には、両氏による講演会「トルコの東方外交:理想と現実」(16:00～18:00、於ホテル・ニューオータニ)を開催します。講演会のお申込みはこちらから。

http://www.spf.org/smeif-j/news/article_6554.html

笹川中東イスラム基金:日本と中東地域の関係促進を補完し、日本独自の方法や手段、アジアの多角的な共存共栄関係の価値観を取り入れることにより、中東地域の安定と持続的な発展に寄与することを目的に、2009年4月に設立されました。日本と中東との関係拡大および相互理解の深化を推進するために、1)日本からの情報発信、2)人物交流、3)人材育成、4)海洋安全保障に関する研究の分野でプログラムを支援・実施しています。